

「今さら」を「今から」に変える、大人の遊びマガジン。

# PLUGO

01  
—  
ソロキャンプ

# STYLE

PLUGO STYLE  
2019 SUMMER  
TAKE FREE

PLUGO STYLE 01  
【発行】株式会社プラコ 【制作】株式会社セイタロウデザイン

自然のざわめきが聞こえる、  
炭酸水。



恵み、巡る。砺波の水から生まれた炭酸水。

いろはす  グラスパークリング  
ウォーター

※画像はイメージです。  
Yes! リサイクル No! ボイ捨て





IBARAKI GOLF CLUB  
茨城ゴルフ倶楽部

|                                                |                  |                                  |
|------------------------------------------------|------------------|----------------------------------|
| ト<br>ー<br>ナ<br>メ<br>ン<br>ト<br>開<br>催<br>実<br>績 | 1977 年 ～ 1987 年： | ダンロップインターナショナルオープンゴルフ選手権競技       |
|                                                | 1988 年 ～ 1995 年： | ダンロップオープンゴルフ選手権競技                |
|                                                | 1996 年 ～ 1999 年： | キリンオープンゴルフ選手権競技                  |
|                                                | 2000 年 ～ 2001 年： | アジアパシフィックオープン<br>キリンオープンゴルフ選手権競技 |
|                                                | 2004 年           | ：第 14 回 日本シニアオープンゴルフ選手権競技        |
|                                                | 2007 年           | ：PGA Handa Cup フィランスロビーシニアトーナメント |
|                                                | 2009 年 ～         | ：ワールドレディスチャンピオンシップ サロンパスカップ      |
|                                                | 2013 年           | ：第 78 回 日本オープンゴルフ選手権競技           |

「今さら」を「今から」に変える、大人の遊びマガジン。

## PLUGO STYLE 創刊

溪流釣りやサバイバルゲーム、クレ射撃やラジコンカー。

なにか新しい趣味をはじめてみたいけれど、

いざとなると「今さらかな…」と思ってしまう。

そんな大人達の「あと一步」を優しくプッシュする

季刊発行のフリーマガジンが、『PLUGO STYLE』です。

初心者のための How to や最初に揃えるべきツールなど、

“はじめる”を応援する内容が充実。

さらに、大人の遊びを加速させるための EV 情報も毎号お届けしていきます。

### INDEX

#### 02 ABOUT PLUGO

#### 04 特集 ソロキャンプという癒やし

エキスパートに訊く“ソロキャン”の流儀

初めてのキャンプであると便利なギア 8 選

4 者 4 様の“ソロキャン”エレメント

#### 14 EV POST

クラシックカーを未来につなぐ、コンバート EV という選択。

#### 17 趣味のバトンコラム 01

昆虫ブリーディングの末席から 山崎 晴太郎



#### 茨城ゴルフ倶楽部

住所：〒300-2352 茨城県つくばみらい市小島新田

電話：0297(58)1216

FAX：0297(58)1961

HP：www.ibarakigc.jp

開場：昭和 37 年 9 月 28 日

設計：上田 治

コース： 東コース 18 ホール 7336 Yd Par 72

西コース 18 ホール 7125 Yd Par 72





## PLUGO CHARGER

街の中に自然と溶け込む  
スマートな EV チャージャー

EVの浸透にともない増加している充電スタンドが、街の景観に新たなノイズを引き起こしている。そんな問題を解決するために生まれたのが、住宅街でも、オフィス街でも、場所に合わせて外観を自由にカスタマイズできる「PLUGO CHARGER」です。EVに乗る人々の毎日を、デザインの力でもっとスマートに変えていく。新発想のプロダクトを、まずは PLUGO 会員の方々のためにお届けします。さらに、この「PLUGO CHARGER」を、現地に着く前に Web から使用予約できるサービスの実証実験も現在進行中。専用アプリの開発も進めるなど、今後さまざまなサービス拡張を予定しています。



## NEWS

## PLUGO 公式サイトオープン

今後のサービス展開や導入情報など、PLUGO に関するニュースをいち早くお届けする公式サイトがオープンしました。  
新モデルの発表など、新たな展開にご期待ください。  
<http://plugo.co.jp/>

茨城ゴルフ倶楽部に  
PLUGO CHARGER が導入

戦略性の高い 36 ホールを誇る茨城ゴルフ倶楽部に、  
3 台の PLUGO CHARGER が導入されました。  
ゴルフ場のグリーンに自然と馴染むようウッディなパネルデザインにするなど、  
外観を自由に換えられるのも PLUGO CHARGER ならではの特徴です。

〒300-2352  
茨城県つくばみらい市小島新田 102  
利用可能時間：7:00～18:00  
定休日：毎週月曜  
電話番号：0297-58-1216（代表）  
0297-58-1522（予約専用）



さあ、行こう。

新たな EV スタイルで、

時代を未来へ。

EV が当たり前になった時代は一体どんな社会だろうか？

それは、化石燃料から電気へという単なる燃料の置換ではなく、  
新たな社会への入口になる、と私たちは考えています。

時間や環境、情報といったあらゆるものが複雑化し、  
拡張され続けている社会の中で、  
よりシンプルで、ノイズのない社会へと歩みを進めていく。

新たな EV ユーザーのスタイルを通じて描くのは、  
テクノロジーの未来ではなく、時代の未来。

EV を取り巻く状況をより自然体に、よりスマートに。

人も車も環境も、そして社会も。  
すべてが違和感なく関わり合えること。

それこそが、  
私たちが EV を通じて描く、  
新しい社会です。

PLUGO 始動。

PLUGO は  
EV という選択を加速させる、  
新時代のおもてなしサービスです。

ガソリンを使わない、CO<sup>2</sup>を排出しない。  
地球にやさしい車を選択した人々に、ひとつ上のカーライフをお届けするための  
おもてなしサービスとして「PLUGO（プラゴ）」は誕生しました。  
景観に配慮してデザインされた近未来型の EV チャージャーと、  
それが設置された施設の利用を快適にする Web システムを組み合わせ、  
この国の EV を取り巻く環境をもっとスマートに進化させること。  
私たちは「PLUGO」というサービスを通して、  
人と社会と車が調和する未来を描いていきます。



# ソロキャンプ という癒し

昨今は、キャンプブームだと  
言われている。

もちろん、これまでも日本でキャンプが盛り上がった時代は幾度かある。個人旅行が増え、あらゆるレジャーが一般化した60年代、そして、アウトドアそのものがファッショ的に浸透した90年代……。

統計的にはキャンプ人口がもっとも多かったのは90年代の半ば。バブルが終焉を迎えたあと、人々はお金をそれほどかけずに余暇を楽しむべく、こぞって自然のなかへと出かけたのだ。

それから20余年。正式に第何次ブームと呼ぶのかはわからないけれど、またしても人々は、積極的に自然のなかへ足を運び、キャンプを楽しんでいる。

ただ、これまでのそれとちよつと違うのは、誰もがスマホを持っているということだ。非日常の体験をSNSで誰かと共有する。それはかつてのブーム時には誰もできなかった。

ところが、そんな時代だからか、“ソロキャンプ”を楽しむ人もまた急激に増えている。焚き火をして和む、奥地の溪流で魚を追い求める、マウンテンバイクで朝一のダウンヒルを楽しむetc……、その目的はさまざま。

家族や友人とワイワイやる本来のスタイルとは違う“お一人様”のキャンプ。どうやらそこには、誰とでも繋がっている時代でありながら他者が入り込めないロマンがあるようだ。

だからこそ、なおさら気になる“ソロキャン巧者”たちのリアルを追った。



# エキスパートに訊く

## “ソロキャン”の流儀

ソロキャンプの楽しみ方は人それぞれ。とはいえ、自然に身を置き、普段とは違う世界を満喫するという目的だけは、誰もが共通している。では、これまで“ソロキャンライフ”を実践してきたエキスパートは、どんな楽しみ方をしているのか？まずは自他共に認めるフィッシャーマンのスタイルからご紹介しよう。



場所が決まったら  
手早く一人用テントを張ります。  
ソロキャンは、  
できるだけ無駄な荷物を  
持っていないことが  
ポイントです。



「仕事の合間に魚を求めて山深い地域に行く場合は、ほぼソロキャンプをします。夕方によく釣れることが多いので、山に入って目一杯釣りをすると、かなり夜が深くなってしまうんです。無理をして帰るよりも夜にキャンプをして、早朝に起きてから、またちよつと釣りをして家に帰るほうがエネルギーを浪費せずに済みますし、効率もいいですよ。釣りから帰宅して、そのまま仕事に出かけることもよくありますよ」。

牟田口氏にとって、あくまでソロキャンプは、釣りをするための手段。日が昇るまで待つ間、どうしても時間を持て余すこともあるが、そんなときは、焚き火をするのが楽しみだという。

「焚き火は、もちろんぼうつと眺めているだけで気持ちが落ち着きますが、実はやるのがいい



ばいあります。薪を集めたり、鎮火しないように空気の量を調整したり、常に火の状態をケアしなければならぬ。だから、寝るまで焚き火をしていると、集中して他のことが忘れられるし、気がつくとも時間経っているんですよ」。

焚き火をしながら夜を明かすのは、まさにソロキャンプの醍醐味でもあるが、牟田口氏は、料理などではできるだけしないようにしている。

「自分は釣りが主目的なので、荷物は最小限にするようにしています。夜が明けてからコーヒーをゆっくり飲むのはルーティンですが、それからすぐに動けるように準備しておきたいので、釣り具以外の道具は増やしたくないんです。でも、快適さは失いたくないので、テントや焚き火台は、安心感のあるものをチョイスするようにしています」。

常に魚のいる場所とコンディションを考えながら動くため、宿泊する荷物はコンパクトに。それゆえ牟田口氏の必要最低限の装備は、初心者も参考になるものが多い。ちなみに、ソロキャンプを満喫する際のリcommendedな場所を聞くと、長野の「廻り目平」との答え。

「標高が高めで夏でも涼しく過ごしやすいですし、虫も少ない。だから初心者には向いていますし、白樺の森が広がっていますから美しい景色も楽しめます。あと、直火（焚き火台不要）で焚き火ができる場所が多いですから、火を眺めたい週末に向いていると思いますよ（笑）」



BASHOO!

牟田口 崇  
(むたぐち・たかし)

1986年佐賀県生まれ。大学在学中からパタゴニアで働き始め、卒業後は東京・水道橋の釣具店「ハーミット」に勤務。フライフィッシングサイト「Flys Unidentified Anglers」の運営や、BS放送の釣り番組でナビゲーターを務めるなど、日々釣りの普及に尽力している。スウェット専門ブランド「YETINA」のディレクターでもある。







牟田口氏が釣りのために渓流に向かう際は、パタゴニア製の「ミドル・フォーク・パッカブル・ウェーダー」を着用する。ラテックスラパーのボディは驚くほど軽量で、シームレス構造のため、とにかく動きやすい。釣りのみならず、雑草が生い茂った獣道を歩く際も何かと重宝する。加えて、水中の魚が見やすくなる偏光レンズ仕様のサングラスを着けて、水辺で滑らないヒップラムソールを配したブーツを履くのが、いつものスタイル。



### アイアンテーブル

「焚き火で熱したものを置いても問題のない鉄製のテーブルは、あると便利です。ちょっと重いのが難点ですが」。こちらは組み立てが簡単な「ナイスタイム東京」のオリジナル。



### クーラーボックス

ラバーラッチで開閉する YETI のクーラーボックスは、フィッシャーが信頼を置く必需品。「ソロキャンプなら、それほど大きくないものが一つだけあれば、事足ります」。



### コーヒーミル

夜明けと共に格別のコーヒーを味わうために、ミルは欠かせない。「金属臭が気になる人は、ステンレス製を選ぶのがポイント。消耗品ですので、程よい価格のもので十分ですよ」。



### 焚き火台

ナバホ柄を象ったナイスタイム東京の別注品。「折りたたんで収納できるものも魅力ですが、ソロキャンで焚き火そのものを楽しむなら、ユニークなデザインを選ぶのもあります」。



### ランタン

「とにかく大きさも機能もさまざまなものが出ているランタンですが、雰囲気を楽しむならガス式です。不具合があった場合のために LED タイプと併用することをオススメします」。



### テント

「ビッグスカイの1人用テントは、狭さを感じないのがいいです。567g しかないので持ち運びもノンストレスですし、「土間」部分に荷物をまとめて置けるのが気に入っています」。



### ホットサンドメーカー

焚き火でホットサンドが焼けるメーカー。「凝った料理はやりませんが、これはパンや具を挟んで焼くだけなので便利です。コンパクトで場所も取らないので、初心者向けですよ」



### ベストとポーチ

「パタゴニアのコンバーティブル・ベストと、サスペンダーに装着できるポーチは、釣り以外でも、とにかく使えます。ソロキャンプで無くし物は困りますから収納は大切です」



**武村信宏さん**（46歳）  
山岳ガイド等を経て、2011年、長野県伊那市にオープンしたバイシクルショップ「クランプ」の店長に就任。地元に着着したミニクな自転車ライフを提案している。  
<http://clomp-bike.com/>



「自転車という枠に囚われないスタンスで、その周辺のカルチャーや長野の自然が楽しめるイベントを提案しています。コンセプトは『ガイド・フォー・ムービング』。絶対の立地を満喫すべく、武村さんは日常的に自転車（マウンテンバイク）で山に登る。日が暮れたらソロキャンプをして、太陽が昇ったら一気に駆け下りる、いわゆるトレイルライドを楽しんでいるのだ。」

半日かけて登っても自転車で駆け下りるのは、わずか20分程度。そんなスリリングなトレイルライドを楽しむために、地域の方々と協力して山道の整備をしているという。「自治体にも話をして、倒木などを排除したり山道を整備したりする活動が続けています。地元の自然を綺麗にすることで、遊び場が増えるのは嬉しいですね。GPSを見ながら自転車で伊那谷の自然を満喫するガイドツアーも実施しています。一度体験したら病みつきになりますよ。」

「自転車という枠に囚われないスタンスで、その周辺のカルチャーや長野の自然が楽しめるイベントを提案しています。コンセプトは『ガイド・フォー・ムービング』。絶対の立地を満喫すべく、武村さんは日常的に自転車（マウンテンバイク）で山に登る。日が暮れたらソロキャンプをして、太陽が昇ったら一気に駆け下りる、いわゆるトレイルライドを楽しんでいるのだ。」

## トレイルライドを楽しむための軽装キャンプ

”

## 4者4様の“ソロキャン”エレメント

一人キャンプは、人それぞれ違う目的やスタイルがある。そう、“ソロキャン”は自由なのだ。アウトドアフィールドで自分の楽しみ方を貫く4人の大切なものを探ってみた。



### 「キャンピングガス」のランタン、バーナー、ストーブ

フランス火器メーカー発のキャンプ道具各種。「20年ほど前に日本でも一世風靡しました。デザインが好きなのですが、いまは入手が困難。ランタンのガスは、ネットで見つけたら即買いします」。



### DC-AC インバーター

パソコンの充電をする際に、車のDC電源をACに変換する必需品。「これがないと心配です。でも車のエンジンをかけていないと使えないのが難点」。

### 「インテックス」のエアベッド

アメリカのマットレスブランドのエアベッド。意外にも寝そべった状態だと、「リラックスして原稿が書ける」という。胸元にクッション状のものを抱え込むのが池田さん流。

川のせせらぎと鳥の鳴き声を聞きながら仕事するのは、ある意味、ゼイタクです♪



### ケータイ用の充電器

ソロキャン時にメインで使っているモバイル各種のための充電器。iPhoneは、丸4回分の充電が可能で、「MacBookもフル充電できた」とのこと。車のシガーソケットからもDC充電ができる。



### 「アノラック」の寝袋

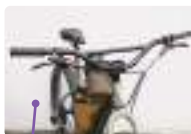
「柄に一目惚れをして、探し求めてネットで見つけて本国から取り寄せました」。イギリスのホームウェアブランド「アノラック」が数年前に発売したトナカイ柄の寝袋。

WORK

”

### 「サーリー」のハンドル

ハンドル部分は、アメリカブランドの幅広タイプにカスタム。「トレイルライドは、ハンドル幅が広いほうが楽しくて快適です」。



### 「クレイジーシープ」のマウンテンバイク

ジャパンメイドの名車“ビッグホーン”。スタンレーカラーのマットに塗り直した特別仕様のセミファットバイクは街でも山でも使いやすい。「オーダーメイドで仕上げたウェルダンのフレームバッグを装着しています」。



### 「カインドショック」のドロップパーポスト

ワンタッチでサドルが上げ下げできるドロップパーポストを採用。「山から下るときはお尻をサドルにつけないので、思いっきり下げます。簡単に下げられると便利です」。

### 「ビパークレーション」の簡易食

200ccのお湯を入れて2分で出来上がる。「のり茶漬けとポッターザンカレーがオススメ。自分はミートボールを乗っけたりしてアレンジします」。



### 「イノー」のハンモック

「収納すると小さいし、簡単に張れるし、ハンモックはとにかく重宝します。ソロキャンプのときはベッドにもベンチ代わりに最適ですよ」。



椅子とソファとベッド、三役こなすハンモックは、とにかく便利です！

### 「CCP」のグローブ

「釣りをしてもグローブをしたまま細かな作業ができるスグレモノ。自転車に乗るときも欠かせません」。ネオプレン素材の通称“2フィンガーグローブ”。

### 「ウェルダン」のバックパック

要望を伝えて作ってもらったオーダーメイド。「ロールトップで容量は大きいけれど背負い心地がいいので、トレイルライドにぴったりです」。



### 「ソーヤーミニ」の浄水機

川や沢の水を浄化してくれる浄水機は、なくてはならないもの。木の枝などに吊るして使う。



BIKE





「やっぱり登山での醍醐味の一つは、標高の高いところから見る綺麗な星空です」。

## 「スト」の時計

「知りたいのは、時間、コンパス、気圧の変化、高度。GPS 機能はケータイで事足りるので、それほど時計に求めなくなりました」。



## 「アグルーカの行方」

尊敬する冒険家、角幡唯介の著書。「メディアにあまり顔を出さない方ですが、多くの登山家がリスペクトをしています。文章も面白く、テントで読むと気分が高まります」。



## 「ソニー」のミニラジオ

「通称“山ラジオ”は、小さくて軽い携帯性の高さがポイントです。ケータイが圏外の場合は、天気をこれでチェックします」。



## 「ラ・スポルティバ」のブーツ

「スポルティバは、ほっそりとしたフォルムが自分に合っていて好きです。しかもアウトソールの強度が高くて岩場のフィットがいいので、安心感があります」。



## 「ペトル」のヘッドランプ、 「ゴールゼロ」のLEDランタン

「ヘッドランプは自動調光機能があるものが便利です。LED ランタンは、USB で充電できれば安心ですね。かなり明るく光るこちらは2〜3泊なら全然持ちます」。



## 「サムスプリント」の 固定器具、救急パック、 ポイズンリムーバー

登山のソロキャンプの場合は、ケガをしたときのケア用品は、必ず携帯したい。「サムスプリントは脱臼や骨折したときに適度な大きさに切って添え木代わりになります。ポイズンリムーバーはヘビなどに噛まれたときの毒抜きに使います」。

## 登山でのソロキャンプは計画性が命です

子供の頃から登山が好きで、アパレルの仕事に就いても山にはよく登っていたという太田さん。普段は本格的なクライミングも楽しむ山のエキスパート。約半年ほど前にフリーの登山ガイドとして独立を果たした。

「登山の場合のソロキャンプは、山行計画によって準備するものが変わってきます。どの程度の高さの山をどのぐらいの期間で登るのか。それに合わせて綿密に計画を立てる必要があります」。

国内外の2000〜3000mを中心に、時期によっては5000mクラスまで登ると聞けばストイックな印象があるが、単に癒しを求めてソロキャンプに出かけることもあるという。

「のんびりするためにソロキャンプをするときは、温泉のある山小屋を選びます。そこを目指して登山をして、近くでキャンプをしながら読書をするのは格別です。標高がそれほど高くないところも多いですから、安全ですし初心者でも楽しめます。例えば奥多摩にある三条の湯は、誰でも簡単に行けますよ」。

逆に、ある程度標高の高い山に足を踏み入れるときは、遭難を避けるために準備を怠ってはいけません。無理のない計画に加えて、重要な小物があるという。

「ヘッドランプは、得に重要なものの一つですね。暗くなり始めて山で動けなくなるのが一番危険。バッテリーなどの不具合があったときにために予備もしっかり確保すべきです。登山をしながらのソロキャンプは、まずは低い山から始めましょう」

## 太田計介さん(41歳)

大手セレクトショップ、アウトドアブランドの企画・開発を経て、2019年よりフリーの山岳ガイドとして独立。昨年は、中国・四川省の未開の山「セエルデンプ」登山にもトライしている。



## 料理もアウトドアズマンの精神を忘れずに

東京・水道橋にあるアウトドアをコンセプトにしたダイニングカフェ「ベースキャンプ」で代表を務めるA-sukeさん。これまで狩猟や釣り、カヤックなどあらゆるアクティビティを楽しんできた氏の根底には、前時代的なアウトドアズマンへの憧れがあるという。

「自分がアウトドアに傾倒したのは、90年代初頭からです。日本でもヘビーデューティと言われて北米のアウトドアカルチャーが盛り上がりましたが、そこには火も電気もない場所でも、ナイフ一つで生き抜くアウトドアズマンの格好よさみたいなものがありました。いまの時代にそれを実践するのは難しいですが、そういうスピリッツみたいなものは忘れないでいたいなと思っています」。

A-sukeさんは、ソロキャンプそのものを楽しむためにアウトドアフィールドに入ることはないというが、無駄のないギア選びは、キャンプ初心者の参考にもなる。特に本職がシェフだけに、余り野菜などで手際よく作るキャンプ料理は、ぜひ真似をしたい。

「自分は目的を持って料理をするのが得意じゃなくて(笑)。あるもので何を作ろうかと考えるのが一番楽しいですね。キャンプで一番簡単な調理法といえば、焼くってことです。例えば肉を焼くときのソースを何にするかを選ぶだけでも楽しいです。それから、そんなところからソロキャンプの醍醐味を味わってみてもいいと思います。原点は、アウトドアフィールドを楽しむってこと。難しく考える必要はないんですよ」。

## A-sukeさん(40歳)

美術大学卒業後、プロダクトデザイナーを経て2011年に「ベースキャンプ」をオープン。アウトドアギアのプロデュースや書籍の執筆なども行っている。  
<https://www.cafe-basecamp.com/>



## 「テンマクデザイン」のグリルプレート 「ショウズ」の焼き火グリル

「プレートは、“焼くを極める超小型調理器具”として自分が設計しました。波型のプレートでこんなに小型のものはまずありません。コンパクトな焼き火グリルに置けば、ソロキャンプにぴったりです」。



## 「テンマクデザイン」の キャンプホリックナイフ

ナイフマニアとしても知られるA-sukeさんが全面プロデュース。「薪を割ったあとに、トマトや肉も切れるまさに万能ナイフです。これ一本でなんでもできます」。



## アスバラの豚バラ焼き

「余り野菜を持っていったって簡単にできるものの代表格です。グリルプレートで焼けば、まず失敗はしません。焼くだけなので(笑)」。



## ズッキーニのグリル

「野菜のなかで焼くだけで美味しいものといえばズッキーニです。煙製したオリーブオイルをまぶすだけで、味わいに深みが出ますよ」。



## ミネストローネ

「自家製のベーコンをラップして持って行って、ズッキーニや玉ねぎ、チーズを入れてトマトで煮込めば簡単にできます。あとはバケツを1本持っていけば十分です」。



## 「テンマクデザイン」の男前タープ

A-sukeさんが手がけたコットン製のタープ。「燃えにくく、ループが多数付いているため形が自在に変えられます」。一人タープ泊に最適の285cm四方。



## 軽量のカトラリー

「食器類は軽くて使いやすいものに越したことはありません。フォークやスプーンは、使う容器の底に食べ物が残らないように、形の相性を考えてセレクトするのが一つのポイントです」。



# クラシックカーを未来につなぐ、 コンバートEVという選択。



基本的にオーダーメイドのコンバートEVだが、完成品や費用感のイメージを知ってもらえるよう、VWビートルの完成品も販売中。お値段は約250万円～。

— どれだけ古い車でもEVにできるのでしょうか？

**古川氏** 基本的にはできます。実は、古い車の方がEVにしやすいんです。つくりがシンプルということもあり、コンバートカーは特にやりやすいですね。ただし、小さすぎる車だとバッテリー容量の制限はでます。これはコンバートEVに限らず、一般に市販されているものでも同じですが、EVである以上、どうしても航続距離の問題というのは考えなければいけません。用途から逆算すると、一般的なクルマというのは、一日の利用が約50kmと、言われています。

— 実際にEVになった愛車に乗った時のオーナー様の反応はどのようなのですか？

**古川氏** 弊社ではまず、できるだけ先に弊社のコンバートEVに乗ってもらって体験してもらおうようにしています。皆さん、なんとなくEVのイメージをお持ちですが、実際に

すから、毎日の通勤や奥様が買い物に使うといった目的であれば、弊社がスタンダードで用意している実質航続距離が80kmのバッテリープランで充分かなと思います。積むバッテリーを増やすことで、実質の航続距離を160km、240kmと伸ばすこともできますが、当然、費用もかかる部分ですので、使用目的を明確にした上でお選びいただきたいですね。注意していただきたいのは、メーカーのカタログに載っている航続距離と実質の航続距離は異なるという点。だいたい、カタログに400kmと記載されていれば実質的に走れるのは200kmなので、半分くらいの距離になると思います。

## クラシックカーに、 走るよろこびを再び。

乗ったことがあるという人は、ほとんどいない。だから、とりあえず乗っていただいて、航続距離の話もお伝えした上で、それでもコンバートEVの付加価値が、距離の問題を上回ると思ってもらえた場合に発注をいただくようにしています。実際に乗られてまず驚かれるのは、EVのトルクの大きいですね。弊社で扱っているビートルのコンバートEVでいうと、トルクは標準車の2倍程度あります。だから、単純にノーマル車よりも速いですし、ストレスもな

## 目的を決めて、EVの魅力を100%引き出す。

「最近のクルマのデザインはつまらない」。そんな声を耳にしたのは、一度や二度ではないだろう。けれど、街の中を走っているクルマに目を向ければ、ほとんどが最近の車種ばかり。結局、利便さ、快適さ、環境性能といった部分が優先され、昔ながらのクラシックカーを選ぶのは、よほどのカーマニアだけ……。そんな寂しさを感じていた矢先、なんとクラシックカーをEVとして復活させている会社があるという情報が飛び込んできた。はたして、ガソリン車からエンジンを取り除き、電気モーターを載せて走るコンバートEVの実力とは。これまで、数多くのクラシックカーをEV化してきた「OZ MOTORS（株式会社オズコーポレーション）」の古川社長にお話を伺った。

— コンバートEVとは、どのような車ですか？

**古川氏** クルマが楽しかったあの時代を、電気自動車という最新技術で甦らせたいという想いから、「レトロフューチャー」をコンセプトに誕生

く走れます。また、バッテリーを積むとガソリン車よりも重たくなるので、ちょっとどっしりしたような、高級車っぽい乗り心地になるのもEVの特徴。走る愉しみというのは、しっ

したのが、弊社のコンバートEVです。製作作業としては、ガソリン車で使っているエンジンやガソリンタンクを取り外し、そこにモーターなどの電動機器やバッテリーを積んでいきます。また、重量の増加などに合わせて足回りを調整することもあります。なるべく古いクルマの良さを活かしていきたいので、できるだけインテリアはいじらない方向でやっています。もちろん、メーターまわりはすべて液晶パネルにしたい、エアコンを取り付けたいなど、オーナー様の希望があれば、いくらでもカスタマイズは可能です。



OZモーターズの古川社長。アフターパーツメーカーとして合法改造を手掛けるなかで排ガス規制に対する知見を得たことによって、より社会に貢献できるクルマという想いに至った。

かり感じていただけたと思います。あと、車内がとても静かなのもEVならではのメリットではないでしょうか。



足回りはそのままと言うことで、やや地面からの震動は感じる。カスタマイズも可能とのことだが、このままの方がクラシックカーに乗っている満足感が得られるように思う。



― 走行性能以外で、EV化するメリットというのがありますか？

古川氏 費用面で見れば、コンバートEVであっても、エコカー認定を受けられるというのはポイントですね。古いクルマに乗るとベナルティがあるのが日本の税制で、初年度登録から13年、18年を越えると自動車税と従量税が上がるわけですが、コンバートEVの場合は、初年度登録が何年であってもエコカーという枠に入るので、自動車税で言えば、1000ccのマーチやヴィッツと同じになります。7000ccのアメリカ車をコンバートEVに変えると、税金だけで年間10万円近く変わってきますよ。車検に関しても、最初に改造申請をきちんと提出します。その後には普通のクルマと同じように受ければ問題ありません。

また、メンテナンス費用がグッと抑えられるというのも大きいです。クラシックカーに乗ったことがある人ならわかると思いますが、とにかくエンジンひとつかけるのにもコツがある。山道で突然動かなくなったら：なんて考えると、とてもじゃないけ



実際に乗車して感じたのは、古いクルマ特有のガソリン鼻につく臭いがしないということ。直線のスピードの伸びも想像以上。

## クラシックカーの

## 自動運転化も現実に!?

乾電池がマンガン電池からアルカリ電池に変わったように、バッテリーの技術革新が起きれば走れる距離をグッと伸ばすことができる。そうになった時に、ミニ四駆のような感覚で、割と簡単にパーツを入れ替えられるのもEVならではの特徴と言えます。

また、実はコンバートEVの自動運転化というのも、すでに実現の一手手前までできています。弊社の商品に、衝突防止や車線またぎをセンサーで感知して回避するモビルアイというものがあるのですが、これにAIを組み合わせることで、運転支援はできてしまう。アダプティブ・クルーズ・コントロールといって、前のクルマに追従して走る機能は、いま持っている技術でもすぐにできてしまうので、まずは第一弾としてこれを実現していこうと計画しています。



古川治さん

〈コンバートEVに関するお問い合わせはこちら〉  
株式会社オズコーポレーション  
〒224-0042  
神奈川県横浜市都筑区大鰐町224-15  
<http://www.o-zo.co.jp>

夏の雨と新たな趣味の始まりは、

いつだって唐突だ。新しい趣味の欠片はいつも身の回りに溢れている。元号がまだギリギリ平成だった春の夜。少しだけ肌寒い日。帰宅中の電車の中で、十年以上もご無沙汰をしている先輩のフェイスブックポストが目についた。

「クワガタの幼虫の割出をしました。沢山いるので、クワガタの幼虫欲しい人、いませんか？」

おお、なんということか。いつもの

## 趣味のボタンコラム 01

日常が、突然ざわつき始めた。

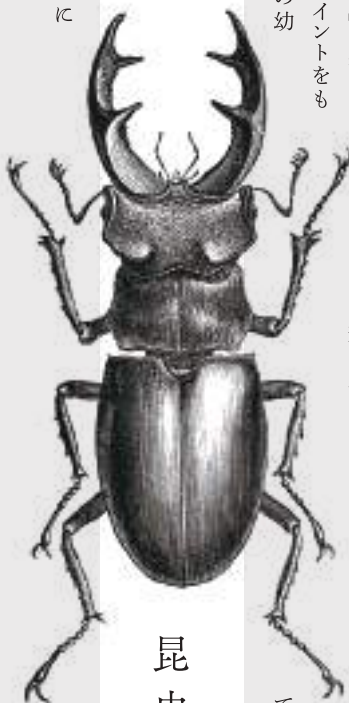
小学生だった頃の記憶が蘇る。あの頃の僕の夏のトップは、間違いなくカブトムシとクワガタムシだった。昆虫界のキングとして君臨するこの二つは、今も昔も男子小学生の好きな生き物ランキングで、かなりの上位に来ることは間違いない。まさにムシキング。

「今回割り出したのは、ダイオウヒラタクワガタとスマトラオオヒラタクワ

ガタです。」と先輩。

ふむ、スマトラとダイオウ。すぐさまポケットの中のグーグル先生に聞いてみると、なんとまあ。滅茶苦茶に格好いいではないか。特にスマトラ。立派な角と都会的なプロポーション。それまで僕が思っていた、オオクワガタ最高説は、「瞬で塗り替えられた。先輩のポストに、瞬速で「いいね」を押す。かくして、無事翌週のアポイントをもらい、僕の家にくワガタの幼

昆虫  
ブリーディング



いと思う。

さて、そんなこんな

で、イケてるか否かには不安が残るまま、無事クワガタブリーダーとしてのデビューを果たした僕は、そのままの流れで新たな一匹に手を出してしまった。ヘラクレスオオカブト。ヘラクレスの幼虫。キングオブ昆虫。みんな大好きヘラクレス。

開き直るわけではないけれど、月に行くのも、新しい趣味を始めるのも、

が、成虫になる前に二、三回交換する必要があるようだ。

この、たった一人のブリーダーの意見を完全に鵜呑みにし、デザインを生業にする僕からみたら、デザインがいまひとつなブログにおすすめされ、菌糸瓶を買った。これで準備万端である。だが、ここでふと気づく。

この菌糸瓶で良かったのだろ

で真打だ。そうならば、その趣味を大手を振って周囲にアピールしてい

## 昆虫ブリーディングの末席から

ある。クワガタを二匹も羽化させることのないまま、今度は、カブトムシブリーダーへの道を歩み始めることになった。まだまだ当初、この世界の末席である。

山崎晴太郎

アートディレクター、デザイナー。株式会社セイタロウデザイン代表。FMヨコハマ「文化百貨店」メインパーソナリティー。新しい趣味を始めるフットワークは軽いが継続に難あり。最近始めた趣味はスケートボード。